

平成19年度秋冬作芝関係 除草剤・生育調節剤試験判定内容

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成19年度秋冬作芝関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成20年7月10日(木)にホテル日航ノースランド帯広において開催された。

この検討会には、試験場関係者11名、委託関係者32名

ほか、計54名の参集を得て、除草剤24薬剤(204点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成19年度 秋冬作芝関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草; ねらい] ・処理時期 ・薬量g・mL<水量L>/m ² ・処理方法	判定	判定内容
1. AKD-7175粒 DBN 1.2%, シナジン 3% [アケ カネショウ]	コウライシ ハ	適用性 新規	太平洋C美野里C 関西G研 門司GC (3)	[一年生雑草、多年生広葉雑草、 スギナ] ・芝生育期 雑草発生前 ・8, 10, 12g/m ² ・土壌処理 対) 一任	継	継) ・効果・薬害の確認(コウライシハ)
	コウライシ ハ	適用性 新規	太平洋C美野里C 関西G研 門司GC (3)	[一年生雑草、多年生広葉雑草、 スギナ] ・芝生育期 雑草発生前 ・8, 10, 12g/m ² ・土壌処理 対) 一任		
2. B-3015乳90 ベンチカーブ 90% [クミアイ化学工業、理研 グリーン]	コウライシ ハ	適用性 継続	東日本G研 花屋敷GC (3) 西日本G研	[一年生イネ科] ・芝生育期 雑草発生前 ・0.4, 0.6, 0.8mL <200-300mL>/m ² ・土壌処理 対) 6/10/90乳 0.6mL<200-300mL>/m ²	実・ 継	実) [秋冬作; (コウライシハ) 一年生イネ科雑 草] ・芝生育期 雑草発生前 ・0.4~0.8mL<200-300mL>/m ² ・土壌処理 継) ・倍量薬害試験での確認 (コウライシハ) ・芝はぎ取り後処理での効果、薬 害の確認(コウライシハ)
3. BEH-447フロアブル ホラムスフロ 2.3% [ハ イエル クロップ サイエ ンス]	コウライシ ハ	作用性 新規	那須ナセー 関西G研 (2)	[一年生雑草、多年生イネ科雑草] ・芝生育期 雑草生育期 (イネ科5-6L) ・0.075, 0.15, 0.2, 0.25mL <100-200mL>/m ² ・茎葉処理 ・展着剤不要	継	継) ・効果・薬害の確認(コウライシハ、シ ハ)
	シハ	作用性 新規	那須ナセー 植調埼玉 (2)	[一年生雑草、多年生イネ科雑草] ・芝生育期 雑草生育期 (イネ科5-6L) ・0.075, 0.15, 0.2, 0.25mL <100-200mL>/m ² ・茎葉処理 ・展着剤不要		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/m ² ・ 処理方法	判 定	判定内容
BEH-44770アブル	コウライシ ハ	適用性 新規	東日本G研 植調埼玉 新中国G研 西日本G研 (4)	[一年生雑草、多年生イネ科雑草] ・ 芝生育期 雑草生育期 (イネ科5-6L) ・ 0.15, 0.2, 0.25mL <100-200mL>/m ² ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) モニメント顆粒水和 0.005g<100-200mL>		
	ノシハ	適用性 新規	東日本G研 植調埼玉 新中国G研 西日本G研 (4)	[一年生雑草、多年生イネ科雑草] ・ 芝生育期 雑草生育期 (イネ科5-6L) ・ 0.15, 0.2, 0.25mL <100-200mL>/m ² ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) モニメント顆粒水和 0.005g<100-200mL>		
4. BEH-50770アブル インダジフラム 20% [ハ イエル クロップ サイエ ンス]	コウライシ ハ	作用性 新規	植調研究所 関西G研 (2)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.015, 0.02, 0.025, 0.03mL <200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 ・ 展着剤不要	継	継) ・ 効果・薬害の確認(コウライシハ、ノ シハ)
	ノシハ	作用性 新規	植調埼玉 関西G研 (2)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.015, 0.02, 0.025, 0.03mL <200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 ・ 展着剤不要		
	コウライシ ハ	適用性 新規	東日本G研 浜松サイト GC 新中国G研 西日本G研 (4)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.02, 0.025, 0.03mL <200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 ・ 展着剤不要 対) イデ トップ フロアブル 0.1mL<200-300mL>/m ²		
	ノシハ	適用性 新規	東日本G研 浜松サイト GC 新中国G研 西日本G研 (4)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.02, 0.025, 0.03mL <200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 ・ 展着剤不要 対) イデ トップ フロアブル 0.1mL<200-300mL>/m ²		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・ 処理時期 雑草発生前 ・ 薬量g・mL<水量L>/m ² ・ 処理方法	判 定	判定内容
5. BES-003顆粒水和 ヨート スルフロニルナトリウム 塩 2%, オキサジクロメチン 30% [ハ ⁺ イェル クロップ ⁺ サイエ ス]	コウライシ ハ	適用性 継続	東日本G研 新中国G研 西日本G研 (3)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.075, 0.1, 0.15g <200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 ・ 展着剤不要 対) モニメント顆粒水和 0.005g<200-300mL>/m ² 又はグ ⁺ ラトップ DF水和 0.25g<200-300mL>/m ²	実 ・ 継	実) [秋冬作: (コウライシハ ⁺ , ノシハ ⁺) 一 年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.075~0.15g<200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 継) ・ 倍量薬害試験での確認 (コウライシ ハ ⁺ , ノシハ ⁺) ・ 連用試験での確認 (コウライシハ ⁺ , ノ シハ ⁺) ・ 実証試験での確認 (コウライシハ ⁺ , ノ シハ ⁺)
	ノシハ ⁺	適用性 継続	東日本G研 新中国G研 西日本G研 (3)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.075, 0.1, 0.15g <200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 ・ 展着剤不要 対) モニメント顆粒水和 0.005g<200-300mL>/m ² 又はグ ⁺ ラトップ DF水和 0.25g<200-300mL>/m ²		
	コウライシ ハ	作用性 継続	植調埼玉 (1)	[倍量薬害] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.15g<200mL>/m ² , 0.3g<400mL>/m ² , 0.6g<800mL>/m ² ・ 土壌処理 ・ 展着剤不要		
	ノシハ ⁺	作用性 継続	南長野GC (1)	[倍量薬害] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.15g<200mL>/m ² , 0.3g<400mL>/m ² , 0.6g<800mL>/m ² ・ 土壌処理 ・ 展着剤不要		
6. DAH-0565水和 シクロフタニル 1%, ホ ⁺ リカーバ ⁺ ート 50% [ダ ⁺ ウ ⁺ ケミカル日本]	ヘ ⁺ ントグ ⁺ ラス	適用性 新規	西日本G研 (1)	[藻類] (単用処理) ・ 芝生育期 藻類発生始 ・ 2.3g<500mL>/m ² ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 (反復処理) ・ 芝生育期 藻類発生始 (1回 目)→再生始 (2回目) ・ 2→2g/m ² , 3→3g/m ² ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要	継	継) ・ 効果・薬害の確認 (ヘ ⁺ ントグ ⁺ ラス)

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/m ² ・ 処理方法	判 定	判定内容
7. DPX-F6025 顆粒水和 クロロムロニフェル 25% [丸和ハ イオミカル、デュ ボン]	コウライシ ハ	適用性 継続	東日本G研 新中国G研 西日本G研 (3)	[一年生広葉、多年生広葉] ・ 芝生育期～休眠期 ・ 雑草生育期 ・ 0.02, 0.03, 0.04g<200mL>/m ² ・ 茎葉処理 対) イゾー-ルDF水和 0.03g<200mL>/m ²	実 ・ 継	実) [秋冬作; (コウライシハ、ノシハ) 一年生 広葉雑草、ヒメカサ] ・ 雑草発生始期～生育初期 0.005～0.01g<200mL>/m ² 茎葉処理 [秋冬作; (コウライシハ、ノシハ) 一年生 広葉雑草および多年生広葉雑 草] ・ 芝生育期 雑草発生前 0.02～0.04g<200mL>/m ² 土壌処理 [秋冬作; (コウライシハ) 一年生広葉雑 草および多年生広葉雑草] ・ 芝生育期～休眠期 雑草生育期 0.02～0.04g<200mL>/m ² 茎葉処理 [秋冬作; (ノシハ) 一年生広葉雑草] ・ 芝生育期 雑草生育期 0.02～0.04g<200mL>/m ² 茎葉兼土壌処理
	ノシハ	適用性 継続	東日本G研 新中国G研 西日本G研 (3)	[一年生広葉、多年生広葉] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.02, 0.03, 0.04g<200mL>/m ² ・ 土壌処理 対) イゾー-ルDF水和 0.03g<200>/m ²		
	ノシハ	適用性 継続	東日本G研 新中国G研 西日本G研 (3)	[一年生広葉、多年生広葉] ・ 芝生育期 雑草生育期 ・ 0.02, 0.03, 0.04g<200mL>/m ² ・ 茎葉処理 対) イゾー-ルDF水和 0.03g<200>/m ²		
8. GG-180粒 シアナジン 1%, DBN 0.5% [日本ケ リーンアンド カ デー]	コウライシ ハ	適用性 新規	泉ハークワンGC 東日本G研 新中国G研 西日本G研 (4)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 20, 30, 40g/m ² ・ 土壌処理 対) ベンボ-ル粒15g/m ²	継	継) ・ 効果・葉害の確認(コウライシハ)
	コウライシ ハ	適用性 新規	泉ハークワンGC 東日本G研 新中国G研 西日本G研 (4)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生初期 ・ 20, 30, 40g/m ² ・ 土壌処理 対) ベンボ-ル粒15g/m ²		
9. GG-181粒 シアナジン 1%, DBN 0.5%, N:P:K:Mg=11:8:7:3 [日本ケ リーンアンド カ デー]	コウライシ ハ	適用性 新規	泉ハークワンGC 東日本G研 新中国G研 西日本G研 (4)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 20, 30, 40g/m ² ・ 土壌処理 対) テマックス粒30g/m ²	継	継) ・ 効果・葉害の確認(コウライシハ)
	コウライシ ハ	適用性 新規	泉ハークワンGC 東日本G研 新中国G研 西日本G研 (4)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生初期 ・ 20, 30, 40g/m ² ・ 土壌処理		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/m ² ・ 処理方法	判 定	判定内容
10. GG-182粒 シアジン 1%, メコプロップPカリウム塩1% [日本ケミカル・リサーチ] [日本ケミカル・リサーチ]	コウライシ バ	適用性 新規	泉パ〜クワンGC 東日本G研 新中国G研 西日本G研 (4)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 20, 30, 40g/m ² ・ 土壌処理 対) ベンボ〜ル粒15g/m ²	継	継) ・ 効果・葉害の確認(コウライシバ)
	コウライシ バ	適用性 新規	泉パ〜クワンGC 東日本G研 新中国G研 西日本G研 (4)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生初期 ・ 20, 30, 40g/m ² ・ 土壌処理 対) ベンボ〜ル粒15g/m ²		
11. HCW-003顆粒水和 イマズメフロン 35%, DBN 35% [保土谷化学工業]	コウライシ バ	作用性 新規	新中国G研 (1)	[一年生広葉、多年生広葉] ・ 芝生育期 雑草発生初期 ・ 0. 1, 0. 15, 0. 2, 0. 25g <200-300mL>/m ² ・ 茎葉兼土壌処理	実 ・ 継	実) [秋冬作; (コウライシバ、ノシバ) 一年生 広葉雑草] ・ 芝生育期 雑草発生初期 ・ 0. 15~0. 2g<200-300mL>/m ² ・ 茎葉兼土壌処理 継) ・ 年次変動の確認(コウライシバ、ノシバ) ・ 低薬量(0. 1g/m ²)での効果の確認 (コウライシバ、ノシバ) ・ 多年生広葉雑草に対する効果の 確認(コウライシバ、ノシバ) ・ 実証試験での確認(コウライシバ、ノ シバ) ・ 倍量薬害試験での確認(コウライ シバ、ノシバ)
	ノシバ	作用性 新規	新中国G研 (1)	[一年生広葉、多年生広葉] ・ 芝生育期 雑草発生初期 ・ 0. 1, 0. 15, 0. 2, 0. 25g <200-300mL>/m ² ・ 茎葉兼土壌処理		
	コウライシ バ	適用性 新規	泉パ〜クワンGC 東日本G研 佐野GC 浜松サイトGC 関西G研 新中国G研 西日本G研 (7)	[一年生広葉、多年生広葉] ・ 芝生育期 雑草発生初期 ・ 0. 1, 0. 15, 0. 2g <200-300mL>/m ² ・ 茎葉兼土壌処理 対) シバタイト407077 [®] 0. 1mL<200-300mL>/m ²		
	ノシバ	適用性 新規	ケラディ那須GC36 東日本G研 佐野GC 南長野GC 関西G研 新中国G研 西日本G研 (7)	[一年生広葉、多年生広葉] ・ 芝生育期 雑草発生初期 ・ 0. 1, 0. 15, 0. 2g <200-300mL>/m ² ・ 茎葉兼土壌処理 対) シバタイト407077 [®] 0. 1mL<200-300mL>/m ²		
	コウライシ バ	作用性 新規	東日本G研 西日本G研 (2)	[倍量薬害] ・ 芝生育期 雑草発生初期 ・ 0. 2g<200mL>/m ² , 0. 4g<400mL>/m ² , 0. 8g<800mL>/m ² ・ 茎葉兼土壌処理		
	ノシバ	作用性 新規	東日本G研 新中国G研 (2)	[倍量薬害] ・ 芝生育期 雑草発生初期 ・ 0. 2g<200mL>/m ² , 0. 4g<400mL>/m ² , 0. 8g<800mL>/m ² ・ 茎葉兼土壌処理		
	ノシバ	作用性 新規	東日本G研 新中国G研 (2)	[倍量薬害] ・ 芝生育期 雑草発生初期 ・ 0. 2g<200mL>/m ² , 0. 4g<400mL>/m ² , 0. 8g<800mL>/m ² ・ 茎葉兼土壌処理		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/m ² ・ 処理方法	判 定	判定内容
12. KUH-062顆粒水和 ピロキサスルホン (ISO申請 中) 75% [クミイ化学工業、理研 グループ]	コウライシ ハ	適用性 継続	東日本G研 東雲GC 新中国G研 西日本G研 (4)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.05, 0.075, 0.1g <200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 対) 一任	実 ・ 継	[実] [秋冬作; (コウライシハ、ノシハ) 一年生 雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前～発生初期 (スズ メノカタビラ3Lまで) ・ 0.05～0.1g<200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 [継] ・ 実証試験での確認 (コウライシハ、ノ シハ) ・ 倍量薬害試験での確認 (コウライ シハ、ノシハ) ・ 連用薬害試験での確認 (コウライ シハ、ノシハ)
	コウライシ ハ	適用性 継続	東日本G研 東雲GC 新中国G研 西日本G研 (4)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生初期 (スズ メノカタビラ3Lまで) ・ 0.05, 0.075, 0.1g <200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 対) アーザン液 0.6mL<200-300mL>/m ²		
	ノシハ	適用性 継続	グランドイ那須GC36 東日本G研 新中国G研 西日本G研 (4)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.05, 0.075, 0.1g <200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 対) 一任		
	ノシハ	適用性 継続	グランドイ那須GC36 東日本G研 新中国G研 西日本G研 (4)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生初期 (スズ メノカタビラ3Lまで) ・ 0.05, 0.075, 0.1g <200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 対) アーザン液 0.6mL<200-300mL>/m ²		
13. KUH-079顆粒水和 新規化合物 50% [クミイ化学工業、理研 グループ]	コウライシ ハ	作用性 新規	植調研究所 西日本G研 (2)	[一年生雑草、多年生広葉] ・ 芝生育期 雑草発生初期 ・ 0.02, 0.04, 0.06g <100-200mL>/m ² ・ 茎葉処理	継	[継] ・ 効果・薬害の確認 (コウライシハ)
	コウライシ ハ	適用性 新規	植調埼玉 新中国G研 (2)	[一年生広葉、多年生広葉] ・ 芝生育期 雑草発生初期 ・ 0.02, 0.03, 0.04g <100-200mL>/m ² ・ 茎葉処理 対) プレートスマッシュSC ・ 0.03mL<150-200mL>/m ²		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・処理時期 ・薬量g・mL<水量L>/m ² ・処理方法	判 定	判定内容
14. NC-625顆粒水和 ピラジナフロニル 70% [日産化学工業]	コウライシ ハ	適用性 新規	泉ハークワンGC 東日本G研 東雲GC 関西G研 新中国G研 西日本G研 (6)	[一年生広葉、多年生広葉] ・芝生育期 雑草生育期 ・0.02, 0.025, 0.03g <150-300mL>/m ² ・茎葉処理 対) アクリン水和 ・0.3g<150-300mL>/m ²	実 ・ 継	[秋冬作; (コウライシハ、ノシハ) 一年生 広葉雑草および多年生広葉雑 草] ・芝生育期 雑草生育期 ・0.02~0.03g<150-300mL>/m ² ・茎葉処理 継) ・年次変動の確認(コウライシハ、ノシハ) ・効果・薬害の確認(ヘントケラス) ・実証試験での確認(コウライシハ、ノ シハ) ・連用試験での確認(コウライシハ、ノ シハ)
	ノシハ	適用性 新規	グランドイ那須GC36 東日本G研 南長野GC 関西G研 新中国G研 西日本G研 (6)	[一年生広葉、多年生広葉] ・芝生育期 雑草生育期 ・0.02, 0.025, 0.03g <150-300mL>/m ² ・茎葉処理 対) アクリン水和 ・0.3g<150-300mL>/m ²		
	ヘントケ ラス	適用性 新規	帯広CC 東日本G研 浜松シサイト GC 関西G研 新中国G研 西日本G研 (6)	[一年生広葉、多年生広葉] ・芝生育期 雑草生育期 ・0.02, 0.025, 0.03g <150-300mL>/m ² ・茎葉処理 対) アクリン水和 ・0.3g<150-300mL>/m ²		
	コウライシ ハ	作用性 新規	太平洋C美野里C 花屋敷GC (2)	[倍量薬害] ・芝生育期 雑草生育期 ・0.03g<150mL>/m ² , 0.06g<300mL>/m ² , 0.12g<600mL>/m ² ・茎葉処理 対) アクリン水和 ・0.8g<300mL>/m ²		
	ノシハ	作用性 新規	太平洋C美野里C 花屋敷GC (2)	[倍量薬害] ・芝生育期 雑草生育期 ・0.03g<150mL>/m ² , 0.06g<300mL>/m ² , 0.12g<600mL>/m ² ・茎葉処理 対) アクリン水和 ・0.8g<300mL>/m ²		
	ヘントケ ラス	作用性 新規	帯広CC 東雲GC (2)	[倍量薬害] ・芝生育期 雑草生育期 ・0.03g<150mL>/m ² , 0.06g<300mL>/m ² , 0.12g<600mL>/m ² ・茎葉処理 対) アクリン水和 ・0.8g<300mL>/m ²		
15. NHK-072水和 クロルフラム 50% [日本農業]	ヘントケ ラス	適用性 新規	東日本G研 関西G研 新中国G研 西日本G研 (4)	[コケ類] ・芝生育期 コケ類生育期 ・0.2, 0.4, 0.6, 0.8g <200-300mL>/m ² ・茎葉処理 対) メタリン水和 2g<200-300>/m ²	継 継)	・効果・薬害の確認(ヘントケラス)

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/m ² ・ 処理方法	判 定	判定内容
16. NOJ-120顆粒水和 トリフロキシメスルフロナトリウム塩 72% [シンジェンタ ジャパン]	ハートム ダグラス	作用性 継続	新中国G研 西日本G研 (2)	[連用薬害] ・ H18春→H18秋→H19春→H19秋 ・ 芝生育期 雑草発生初期(3葉期まで) ・ 0.006g<150-250> ・ 茎葉兼土壌処理	実・ 継	実) 従来どおり [秋冬作; (コライシバ、ノシバ、ハートム ダグラス) 一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生初期～生育期 (5葉期まで) 0.003～0.006g <150～250mL>/m ² 茎葉兼土壌処理 継) ・ 倍量薬害試験での確認 (コライシ バ、ノシバ、ハートムダグラス)
17. NP-6470アフル 既知化合物 A% [日本曹達]	ハートク ラス	作用性 新規	東日本G研 (1)	[ギンコウ] ・ 芝生育期 ギンコウ生育期 11月、12月、1月、2月、3月処理の 計5時期 ・ 0.5, 0.75, 1mL <100-200mL>/m ² ・ 茎葉処理 対)タカ水 0.045g <100-200>/m ²	継	継) ・ 効果・薬害の確認 (ハートクラス)
	ハートク ラス	適用性 新規	新中国G研 (1)	[ギンコウ] ・ 芝生育期 ギンコウ生育期 2～3月に1回処理 ・ 0.5, 0.75, 1mL <100-200mL>/m ² ・ 茎葉処理 対)タカ水 0.045g <100-200>/m ²		
18. RGH-0601粒 ヘンテメタリン 0.86% (N:P:K=25:5:10 (USA 表示)) [理研グリーン]	コライシ バ	適用性 継続	東日本G研 関西G研 新中国G研 西日本G研 (4)	[一年生雑草 (本科除く)] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 20, 22.5, 25g/m ² ・ 土壌処理 ・ 対)テマックス粒剤 40g/m ²	実・ 継	実) [秋冬作; (コライシバ、ノシバ) 一年生 雑草 (本科除く)] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 20～25g/m ² ・ 土壌処理
	ノシバ	適用性 継続	東日本G研 関西G研 新中国G研 西日本G研 (4)	[一年生雑草 (本科除く)] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 20, 22.5, 25g/m ² ・ 土壌処理 ・ 対)テマックス粒剤 40g/m ²		継) ・ 効果、薬害の確認 (リナキアブル ダグラス)
	ブルーク ラス	適用性 新規	泉ハータクGC グランドイ那須GC36 那須ナセー (3)	[一年生雑草 (本科除く)] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 10, 15, 20g/m ² ・ 土壌処理 ・ 対)テマックス粒剤 15g/m ²		・ 連用薬害試験での確認 (コライシ バ、ノシバ) ・ 実証試験での確認 (コライシバ、ノ シバ)
19. SB-5521顆粒水和 ヘンテメタリン 53% [エス・イー・エス バイotech]	ハートム ダグラス	適用性 新規	静岡県G場協会 東雲GC 花屋敷GC 新中国G研 西日本G研 (5)	[一年生雑草 (本科除く)] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.3, 0.45, 0.6g <200-300mL>/m ² ・ 茎葉処理 対)ウェイクアップアフル 0.6g<200-300mL>/m ²	継	継) ・ 効果、薬害の確認 (ハートムダグラ ス)

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/m ² ・ 処理方法	判 定	判定内容
20. SL-160顆粒水和 フザスルホン 25% [石原産業]	コウライシ ハ	適用性 継続 (H18, H17申 請分)	宇都宮大学 (H17) 関西G研 (H18) (2)	[一年生雑草及び多年生広葉雑 草] ・ 芝生育期 雑草発生初期 ・ 0.01, 0.015, 0.02, 0.03g <100-200mL>/m ² ・ 茎葉処理 ・ 展着剤を加用する 対) シバゲン水和 0.025g<100-200mL>/m ²	実 ・ 継	実) [秋冬作; (コウライシハ) 一年生雑草お よび多年生広葉雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 0.01~0.03g<200~300mL>/m ² 雑草発生初期 0.01~0.03g<100~200mL>/m ² ・ 茎葉兼土壌処理 [秋冬作; (ノシハ) 一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 0.01~0.03g<200~300mL>/m ² 雑草発生初期 0.01~0.03g<100~200mL>/m ² ・ 茎葉兼土壌処理 [秋冬作; (ノシハ) 多年生広葉雑草] ・ 芝生育期 雑草発生初期 0.02~0.03g<100~200mL>/m ² ・ 茎葉処理 [秋冬作; (ハーフミューダグラス) 一年生 雑草および多年生広葉雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 0.01~0.03g<200~300mL>/m ² 雑草発生初期 0.01~0.03g<100~200mL>/m ² ・ 茎葉兼土壌処理
	ノシハ	適用性 継続 (H17申 請分)	宇都宮大学 (1)	[一年生雑草及び多年生広葉雑 草] ・ 芝生育期 雑草発生初期 ・ 0.01, 0.015, 0.02, 0.03g <100-200mL>/m ² ・ 茎葉処理 ・ 展着剤を加用する 対) シバゲン水和 0.025g<100-200mL>/m ²		
	ノシハ	適用性 継続	東日本G研 新中国G研 西日本G研 (3)	[一年生雑草、多年生広葉、スギナ、 ヒメカゲ] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.01, 0.02, 0.03g <200-300mL>/m ² ・ 茎葉処理 対) シバゲン水和 0.025g<150-200mL>/m ²		
	ノシハ	適用性 継続	東日本G研 新中国G研 西日本G研 (3)	[一年生雑草、多年生広葉、スギナ、 ヒメカゲ] ・ 芝生育期 雑草発生初期 ・ 0.01, 0.015, 0.02, 0.03g <100-200mL>/m ² ・ 茎葉処理 ・ 展着剤を加用する 対) シバゲン水和 0.025g<150-200mL>/m ²		
	ハーフミュー ダグラス	作用性 新規	東雲GC 門司GC (2)	[倍量薬害] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.03g<200mL>/m ² 0.06g<400mL>/m ² 0.12g<800mL>/m ² ・ 土壌処理		継) ・ 連用試験での確認 (コウライシハ、ノシ ハ、ハーフミューダグラス) ・ 実証試験での確認 (コウライシハ、ノシ ハ、ハーフミューダグラス)
	ハーフミュー ダグラス	適用性 継続	浜松シバド GC 関西G研 花屋敷GC 門司GC (4)	[一年生雑草、多年生広葉、スギナ、 ヒメカゲ] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.01, 0.02, 0.03g <200-300mL>/m ² ・ 茎葉処理 ・ 展着剤を加用する 対) シバゲン水和 0.025g<150-200mL>/m ²		
	ハーフミュー ダグラス	適用性 継続	東雲GC 埼玉スタジアム2002 浜松シバド GC 関西G研 花屋敷GC 門司GC (6)	[一年生雑草、多年生広葉、スギナ、 ヒメカゲ] ・ 芝生育期 雑草発生初期 ・ 0.01, 0.02, 0.03g <100-200mL>/m ² ・ 茎葉処理 ・ 展着剤を加用する 対) シバゲン水和 0.025g<150-200mL>/m ²		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/m ² ・ 処理方法	判 定	判定内容
21. SYJ-1947プロアブル プロアミン 40% [シンジエンタ ジャパン]	コウライシ ハ	適用性 新規	泉パ-クワンGC 東日本G研 植調埼玉 関西G研 新中国G研 西日本G研 (6)	[一年生雑草 (本科を除く)] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0. 14, 0. 18, 0. 26mL <200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 対) クアブ ロック水和 0. 125g<200-300mL>/m ²	実・ 継	実) [秋冬作; (コウライシハ、ノシハ) 一年生 雑草 (本科を除く)] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0. 18~0. 26mL<200-300mL>/m ² ・ 土壌処理
	ノシハ	適用性 新規	泉パ-クワンGC 東日本G研 植調埼玉 関西G研 新中国G研 西日本G研 (6)	[一年生雑草 (本科を除く)] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0. 14, 0. 18, 0. 26mL <200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 対) クアブ ロック水和 0. 125g<200-300mL>/m ²	継	・ 低薬量 (0. 14mL/m ²) での効果の 確認 (コウライシハ、ノシハ) ・ 年次変動の確認 (コウライシハ、ノシハ) ・ 倍量薬害試験での確認 (コウライシ ハ、ノシハ) ・ 連用試験での確認 (コウライシハ、ノ シハ) ・ 実証試験での確認 (コウライシハ、ノ シハ)
22. フロシアミン顆粒水和 フロシアミン 65% [シンジエンタ ジャパン]	コウライシ ハ	適用性 新規	東日本G研 新中国G研 西日本G研 (3)	[一年生雑草 (本科を除く)] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0. 08, 0. 1, 0. 12g <200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 対) ウェイップ フロアブル 0. 4mL<200-300mL>/m ²	実・ 継	実) コウライシハ、ノシハ 以外は従来どお り [秋冬作; (コウライシハ、ノシハ) 一年生 雑草 (本科を除く)] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0. 08~0. 24g<200-300mL>/m ² ・ 土壌処理
	ノシハ	適用性 新規	東日本G研 新中国G研 西日本G研 (3)	[一年生雑草 (本科を除く)] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0. 08, 0. 1, 0. 12g <200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 対) ウェイップ フロアブル 0. 4mL<200-300mL>/m ²	継	・ 低薬量 (0. 08g/m ²) での年次変動 の確認 (コウライシハ、ノシハ)
23. フロビサミドフロアブル フロビサミド 40% [タカミカ日本]	コウライシ ハ	適用性 新規	埼玉スタジアム2002 西日本G研 (2)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0. 375, 0. 5, 0. 625g <200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 対) カブ 水和 0. 4g<200-300mL>/m ²	継	継) ・ 効果、薬害の確認 (コウライシハ、ノ シハ)
	ノシハ	適用性 新規	植調埼玉 西日本G研 (2)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0. 375, 0. 5, 0. 625g <200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 対) カブ 水和 0. 4g<200-300mL>/m ²		
24. 粉状MCP水溶 MCPAナトリウム塩一水化 物 70% [石原産業]	コウライシ ハ	適用性 新規 (H18申 請分)	関西G研 (1)	[広葉雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0. 4, 0. 6, 0. 8g<100-200>/m ² ・ 茎葉処理 ・ 展着剤を加用する 対) MCP液0. 5mL<100-200>/m ²	継	継) ・ 効果、薬害の確認 (コウライシハ)